

R6 油谷小学校における働き方改革へ向けた取組について

長門市立油谷小学校

「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」に基づき、持続可能な学校の指導・運営体制の構築や教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、油谷小学校では以下のような目標を掲げて、取組を推進しています。

目標：教職員の時間外在校時間の上限【1 か月について 45 時間、1 年について 360 時間】を超えない範囲内で、教職員としての業務を行う。

※県内小学校教員の 1 か月平均は 38.4 時間（R4）

1 業務の見直し・効率化

- （１）各種会議・諸調査、各種行事・事業等の精選・簡略化を、教職員で共通理解を図りながら進めています。
- （２）会議等の校務において ICT を活用し、業務の効率化を図っています。
- （３）学校・教員が担う業務について、保護者・地域等の理解促進を図っています。

2 勤務体制等の改善

- （１）IC カードを利用した勤務時間管理をし、継続的な状況把握をしています。
- （２）意識改革を図るショート研修を随時、行っています。
- （３）令和 5 年 9 月から時間外は留守番電話による対応を導入しています。

3 学校支援人材の活用

- （１）学校花壇や農園の水やり等は、散水タイマーを活用しています。
- （２）地域連携関連、学校図書館関係、プリントの印刷や仕分け等については、支援員が業務補助をしています。
- （３）ICT 支援員の配置があり、教員の日常的な ICT 活用をサポートしています。
- （４）草刈り等の環境整備作業の計画を年度当初に示し、保護者や地域の方とともに行っています。
- （５）毎月 1 回の「学校と地域をつなぐコーディネーター会議」において、学習支援や児童の活動の見守り等をお願いし、多くの人で児童の活動の支援を行っています。